



スポーツと人権尊重

平和の象徴「スポーツ」

2020年東京オリンピック開催決定で日本中が湧き上がりました。なぜ、スポーツは、世界中の人々からこれほどまで愛され、親しまれているのでしょうか。

スポーツにはフェアプレイの精神に基づいた倫理観が存在します。すべての選手が公平・公正な条件の中で、自己の技術と体力の限界に挑戦し、平等なルールの下で全力を尽くす姿が、観る人々にも感動を与えるからでしょう。

また、「スポーツには人種も国境もない」とよく言われます。実際に緊張感が高まっている国

同士の間で「スポーツ交流」を行い、友好ムードを作った例もありました。スポーツが「平和」を願う世界中の人々から共感を寄せられるのは、こうした理由からでしょう。

「生涯スポーツ」とは？

みなさんは、「生涯スポーツ」という言葉をご存じですか。

生涯スポーツは、すべての人が、自分の体力や年齢、技術、ハンディキャップに応じて、体に大きな負荷をかけることなく気軽に参加できるスポーツのことです。ウォーキングやジョギングなどのほかに、グラウンドゴルフやペタンクのような新しいスポーツも多数考案されています。これらの生涯スポーツは、一緒に競技をする人たちがお互いを理解し、尊重し合う中でルールが決められており、競技を通して喜びを共有し、する人と観る人の共感を呼ぶことで交流の輪を広げようとするものです。

「生涯スポーツ」を楽しもう！

生涯スポーツの意義や役割には、「健康増進」、「生きがいづくり」、「健全な青少年の育成」、「ふれあいと交流」などがあり

ます。自分の健康はもちろんです。多様な場でスポーツを楽しむことで、「年齢やハンディキャップ、言葉や文化を超えて共に楽しみ、尊敬し合う」本来人間が持つ素晴らしい力を体感できるでしょう。

これまでスポーツに縁がなかった人やスポーツが苦手な人も、ウォーキングなど身近なことから始めてみませんか。興味があるものの何をしようか迷っている人は、市役所やバンブースポーツクラブにお問い合わせください。新しいことを始めれば、そこから新しい交流の輪が広がり、改めて自分の健康に気をつけるようになるなど、様々な発見があるはずです。

さあ、スポーツの秋です。一緒に楽しく汗を流しましょう。問い合わせ

文化生涯学習室
☎ 22-7757

NPO法人バンブースポーツクラブ
☎ 22-1631



人権啓発講座

大久野島から人権と平和について考えるフィールドワーク ～大久野島毒ガス兵器工場等戦争遺跡の見学と学習～

戦争の悲惨さ、平和・命の尊さを学び、人権が尊重される社会の実現を目指し一人ひとり何ができるのかを考えましょう。

日時 11月30日(土) 9時10分～15時30分 (少雨決行)

場所 大久野島(忠海港9時10分集合、忠海港15時25分帰着・解散)

講師 毒ガス島歴史研究所 代表 山内静代さん

内容 大久野島毒ガス資料館を見学し、講師の話聞きながら屋外で戦争遺跡を見学します。歩きやすい履物と服装、飲み物を持参してください。

参加費 大人1,170円、中～大学生1,050円、小学生以下910円
(フェリー代往復・昼食代・保険代)

定員 25人(先着順)

申し込み 人権センター ☎ 22-3726

